

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		文化財保護				所管	教育委員会 生涯学習課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	123	計画事業名	文化財保護		事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] 活力にあふれ多彩な魅力が輝くまちの実現 [施策] 28 文化資源の保存・継承・活用					[事業開始]	昭和 6 2 年度	
	根拠法令等	法令(義務)	〔法令等名〕		文化財保護法				
	事業対象	直接の対象 : 一般区民 最終的な対象 : 同上							
	事業目的	文化財を後世に継承するために調査を行い、文化財の保護、保存・活用を図り、文化遺産に対する区民の保護意識と郷土愛を高める。							
	事業内容 [H30年度]	区民文化の発展、郷土文化の振興のため、文化財の保護、保存・活用を図り、総合的に事業を実施する。 ①文化財調査 ②区民文化財台帳への登録・指定(指定1件、登録3件) ③文化財普及PR(史跡説明板5基設置、ホームページ掲載) ④文化財調査報告書等の作成(4冊)、頒布 ⑤文化財講座の実施(6回) ⑥埋蔵文化財展示 ⑦文化財資料収集 ⑧文化財関係法令等に基づく申請・届出等の進達(544件) 等							
	委託の有無	一部委託	委託内容		文化財調査、史跡説明板設置、文化財保管室保守・管理 等				
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度		
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率
	活動指標	史跡説明板新規設置数	基	2	2	3	5	2	250.0%
		講座等実施回数	回	8	8	8	8	8	100.0%
	成果指標	文化財台帳登録数	件	5	6	5	3	5	60.0%
		講座等参加者数	人	180	222	183	215	180	119.4%
	決算額 (単位:千円)				H28年度		H29年度		H30年度
					26,791		26,607		25,521
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			35,902		34,472		30,372
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			7,764		7,603		6,408
その他のコスト(扶助費・補助費など)			1,786		1,715		2,054		
総経費			45,452		43,790		38,834		
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			163		382		415	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			2,592		2,619		2,290	
	一般財源(区負担額)			42,697		40,789		36,129	
課題及び今後の進め方	区民に対する文化財の普及啓発が課題となっている。文化財講座の実施や史跡説明板の設置、埋蔵文化財展示の充実等により、文化財に対する区民の保護意識と郷土愛を高める。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	文化財保護事業を行うことにより、文化財の滅失を防ぎ、その適切な保存と活用を図ることで、後世に継承することができる。						
	効率性	3	文化財の専門的な実地調査や資料収集等について、文化財保護調査員と文化財保護審議会委員により効率的に行っている。						
	手段の適切性	3	文化財講座の開催、調査報告書等の刊行、ホームページ掲載等、様々な手段により文化財の普及に努めている。						
目的達成度	2	登録を検討した文化財のうち、引き続き調査を要するものとなった文化財があったことなどから、登録件数は3件となった。今後も区内に存する文化財の調査等を着実に実施していく。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性			
区内文化財の保護及び保存・活用のため、文化財の調査を実施していく。また、文化財講座の実施や史跡説明板の設置、文化財調査報告書の刊行等により、区民に対して、文化財の普及啓発を図っていく。						維持		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了	